家畜衛生だより

令和８年８月発行 No16.
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会

真夏の夜の寄生虫対策

～ワクモ被害とロイコチトゾーン症の豆知識～

＜＜ ワクモ ＞＞鶏の血を吸うダニ類の外部寄生虫

✓昼間：ケージのつなぎ目や集卵ベルト等の物陰、隙間、鶏糞中に潜んでいます
✓夜間：**夜間**に行動し鶏の体に移動・吸血します
✓発生しやすい時期：５月下旬～７月上旬
９月～１１月上旬



農研機構 HP より引用

＜＜ ワクモによる被害 ＞＞

重度寄生による貧血、吸血による痒み・不快感による飼料摂取量低下や産卵率低下、感染症の媒介、汚卵など

＜＜ 予防と対策 ＞＞

○ワクモを鶏舎に持ち込まない

・専用作業衣、専用長靴の着用が必須！

○器材はしっかり洗浄する

ワクモは６５℃以上、虫卵は６０℃以上で死滅します

・ゲージやコンテナ、トイなどは６５℃以上の温水で洗浄

○オールアウト後の徹底駆除を！

ワクモ退治の大チャンス！！

・オールアウト後は放置せず、早急に環境を綺麗にしましょう！！
・１週間間隔２回の薬剤散布が有効
→ピレスロイド系、有機リン系、カーバメイト系製剤

※近年、新しいワクモ駆除剤が発売されています。

裏面へ⇒

注意
殺虫剤の希釈は、専用タンクを利用しましょう！

★メタジアミド系製剤（主成分プロフラニリド）：環境中の幼ダニ～成ダニを駆除
★飲水薬：フルララネルにより鶏に寄生するワクモを駆除

注意

近年、薬剤に抵抗性を示すワクモが確認されています。
薬剤の適切な使用、鶏舎の衛生対策を徹底しましょう！

＜＜ ロイコチトゾーン症＞＞

2025 年に山形県内で発生あり！

✓原因：ロイコチトゾーン　カウレリー
✓発生しやすい時期：７～９月
✓媒介：ニワトリヌカカ
★日没後 30 分から日の出前３０分に吸血



ロイコチトゾーン症による貧血
農研機構 HP より引用

＜＜ ロイコチトゾーン症による症状、被害＞＞

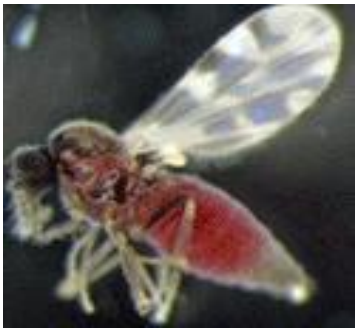
貧血、緑色便排泄、削痩、産卵率低下、軟卵産出など

・重症例：沈鬱、うずくまり、羽毛の逆立て、出血、死亡

＜＜ 予防と対策 ＞＞

○ ニワトリヌカカ対策

・鶏舎周囲の除草
・LED ライトによる捕虫
・忌避剤や殺虫剤の散布
（ピレスロイド系・有機リン系・カーバメイト系製剤）など



農研機構 HP より引用

家畜に異状が認められた場合は速やかに連絡を！

庄内家畜保健衛生所：0235-68-2151

